

青木 大也

法学研究科・准教授

【研究】

今年度は、自分が代表者を務める科研費(基盤C)と、分担者を務める2件の科研費に関するものを中心に研究を進めた。その結果、共著書籍2点、論文6点(うち1点は国際共同研究の成果としての英語論文、1点は本学の清水真希子教授(商法)との共著)、評釈1点を公表し、5件の口頭発表を行った。

【教育】

今年度は、法学部の科目2コマ(知的財産法2、法政導入演習)を担当し、通年の演習を知的基盤総合センター北元准教授との共同で担当した。また大学院法学研究科の科目を3コマ担当した。

また、大学院生について、M2を5名、M1を3名担当し、研究生1名を受け入れた。

【管理運営】

部局内にて、法学研究科教務委員会、評価室、広報室に参画した。

また知的基盤総合センター、ELSIセンターの教員を各々兼任した。知的基盤総合センターでは、研究企画、FDや智適塾関係を担当した。

【社会貢献】

- ・産業構造審議会知的財産分科会弁理士制度小委員会、意匠制度小委員会、同意匠審査基準 WG の委員を務め、また工業所有権審議会弁理士審査分科会 試験委員を務めた。
- ・特許庁政策推進懇談会にて「NFT 化した画像データの意匠権保護」に関するプレゼンテーションを行った。加えて日本弁理士会や日本知的財産協会向け等に仮想空間やメタバース関連の講演を 5 件行った。
- ・日本弁理士会中央知的財産研究所の研究員を務めた。
- ・1 件の受託研究のアドバイザー委員を務めた。
- ・特許庁職員への研修講師を 3 件務めた。
- ・大阪府立高校への出前講義 2 件を行った。

【特記事項】

IP ジャーナル 24 号にて、「大阪大学知的基盤総合センターにおける知財教育と知財実践」と題する小論を公表し、本学の取組を紹介した。